

女性委員会だより

～秋田県建築士会 令和元年度活動報告～

親子体験学習「気持ちのいい家つくろう」in 横手

横手建築士会 鈴木 ルリ子

令和を迎え最初の親子体験学習は、このイベントが始まった横手市での開催となり、今回で15回目となります。

今年は「東北ブロック女性委員会視察・見学会」と開催時期や見学会の場所も偶然重なっていたという事もあり、同時開催ということになりました。

準備段階ではよく分かっていないまま踏み出してしまい、女性委員長を始め諸先輩方には毎回助けていただきました。初めて自分も企画する側に携わってみて、改めて裏方で頑張る諸先輩方がいるからこそ様々な行事等がスムーズに進められていたこと身をもって感じる事ができ、本当にいい経験をさせて頂けたと振り返っているところです。毎日のように行っていた打合せメールも今となってはいい思い出です(笑)

今回、親子体験学習の会場は「雄物川町民家苑木戸五郎兵衛村」での開催でした。場所の選定にあたっては横手支部女性メンバーと今の家は天井が貼られていて屋根裏の造りも見えないので子供達に家の裏側を見てもらいたいねと決定したところでした。また、雄物川町を皆さんに知ってもらい、地域を盛り上げたいという気持ちから雄物川町開催に至ったところです。

親子体験の募集では他支部の女性メンバーからの協力でFM局から呼びかけていただいたり、フリーペーパーや横手市報等への掲載、横手市内全小学校へビラを配布、各施設へポスターを貼るな

ど多方面へ支部メンバーと協力しこのイベントへの周知をはかりました。

当日は親子9組、女性委員会、青年委員会、東北ブロックの委員長方など総勢63名と賑やかに体験学習を始めることが出来ました。

古民家でのイベントは作り手側の気持ちにも何か影響を与えるのか、例年とはまた違った拘りある手の込んだ作品が目立ったようにも思います。作業開始時は何から手をつけていいのか分からず固まっている子もいましたが、サポートに付いているメンバーがアドバイスをしてあげると形が見えてきたのか、ものづくりに自分からどんどん手を加えていき、休憩もとらずに黙々とのめり込んでいく姿は見ている側も嬉しくなりました。子供達は作っていくうちに気持ちも大きくなるのか「車で運べる大きさで」ということも忘れどんだん家は大きくなっていました。(笑)

最後の感想では、「長い時間子供と向き合い何かを作り上げるということは初めてだったのでこのようなイベントは続けて行ってほしい」「子供以上に自分の方がはまっていた」という感想をいただき、携わってきた私達も嬉しくなる瞬間でした。

このイベントを開催するにあたり、協力して下さった女性委員会のメンバー、青年委員会のメンバー、親会の皆様、本当にありがとうございました。



令和元年度

東北ブロック会女性委員会視察・見学会 IN あきたに参加して

横手建築士会

酒井 あずさ

令和元年10月6日(日)横手市内を会場に「令和元年度 東北ブロック会女性委員会 視察・見学会 IN あきた」が行われました。

当日は東北各県からの参加者と秋田県建築士会の参加者を含めて総勢50名を超える参加があり、午前の部は全体を2班に分けて徒歩でまち歩きをしながら見学ポイントを巡りました。

松橋委員長の挨拶の後、まずは全員で羽黒町武家屋敷通りに行き、登録有形文化財遠藤家住宅をはじめ、歴史的な佇まいを残す羽黒町・上内町地区の雰囲気を楽しみながら散策をし、その後各班で旧日新館と昨雪軒の見学をしました。

旧日新館は秋田県指定の有形文化財で、明治35年に外国人のための宿舎として建設された木造住宅です。最初の居住者である旧制横手中学校(現横手高等学校)の英語教師であったチャールズ・C・チャンプリンの指導を受けながら地元の大工棟梁藤村初五郎が建築しました。玄関の半円アーチのガラスの欄間や、玄関・バルコニーの柱頭飾り、背の高い上げ下げ窓などが特徴的な、秋田県内には貴重な明治時代の木造洋風住宅で、現在も所有者である鶴岡さんが住まいながら大切に管理していらっしゃいます。

昨雪軒は建築家白井晟一的设计による住宅で、通常は非公開なのですが今回特別に見学させていただくことができたもので、地元にいる私にとっても初めて拝見する機会となりました。門をくぐると広々とした石庭が広がり、その奥にある住宅の玄関アプローチへと繋がります。ちょうど紅くなり始めた庭の紅葉や山の緑と相まって、完成された一幅の絵の中にいるような素敵な空間でした。対して玄関アプローチは、低く抑えた天井と限られた開口部からの自然の光を活かした薄暗い空間となっていて、開けた庭との対比が面白かったです。実際に空間に身を置くことで、写真だけではわからない良い体験をすることができました。

まち歩きを終えた後は、ゲストハウス平源へ。国

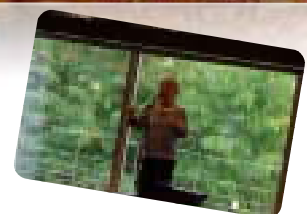
登録有形文化財でもある大正時代に建設された建物を見学させていただいた後は、宴会場で平源の改修設計をされた安井妙子氏よりお話を聞き、続いて増田まちなみ研究会の鈴木会長より横手市増田伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物の修理事業の実践的なお話を聞きながら豪華なランチコースをいただきました。引き続き、別室にて第2回東北ブロック会女性委員長会議が開催されました。

午後の部は、横手市増田町へ移動し、今年5月1日にリニューアルオープンした増田まんが美術館を見学した後、各自増田のまちなみを見学、最後は保存地区内の伝統的建造物である満福寺本堂の修理工事を見学させていただきました。

満福寺本堂は天保2年(1831年)に建設された歴史ある建築物ですが、この工事は、これまで茅葺屋根の上にトタンが被せられていたものを、茅を撤去した上で現在の屋根の形そのままに銅板葺にするという大工事です。実際の施工にあたっての苦労話や、工事の過程で出て来た当初建設時や昭和48年頃の屋根改修工事に関する様々なお宝?の写真をを見せていただき、また本堂内部の素晴らしい板絵が描かれた格天井などを拝見することができました。

数日前からの天気予報も微妙な予報が続き心配していましたが、蓋を開けてみると皆さんの日頃の行いが功を奏したか、お天気にも恵まれ無事に視察・見学会を終えることができ、準備から関わった地元スタッフのひとりとして、ほっと胸をなで下ろしたところです。

最後に、この視察・見学会の実施にあたっては、横手建築士会の皆様に多大なご協力をいただきました。盛り沢山の見学会でしたが、横手市内のこれからも大切にしていきたい建築物の数々を見直す良い機会となりました。ご協力をいただきましたすべての皆様に、改めてお礼を申し上げますと思います。ありがとうございました。



第1回学習会に参加して

仙北建築士会 鈴木 有扶子

6月8日（土）秋田市のパーティーギャラリーイヤタカで令和元年度女性委員会会議及び第1回学習会が行われました。

学習会は「福祉まちづくり部会」の活動紹介と「高齢化社会の住環境」をテーマに行われました。講師は我が女性委員長、松橋雅子さんです。松橋さんは建築を通して福祉に携わり、数々の実績を持っておられます。

建築士会の委員会活動の中に「福祉まちづくり部会」（以下「福まち部会」）があるのを、知っている会員は少ないのではないのでしょうか。私もその一人でした。正式には日本建築士会連合会のまちづくり委員会の部会の一つだそうです。「福まち部会」の活動は地域差があり、秋田県では松橋委員長がたった一人で活動を始めておられます。周知を重ねて仲間を募っていきたいそうです。

「高齢社会の住環境について」は5月19日（日）に秋田市にぎわい交流館A.Uで東京大学、高齢社会総合研究機構、特任助教の西野亜希子氏を招いて行われた、福祉まちづくり部会キックオフミーティングの内容や、松橋さんの手掛けてきた福祉建築、改修の事例のお話を伺いました。病院を退院してきた患者が環境の違いのために、自宅に戻ってから生活しにくくなり、病院や施設に舞い戻ってしまう場合がよくあるそうです。そこまでいなくても身体に合わなくなった環境で、我慢して不便に暮らしている方々はたくさんいると思います。西野先生は身体が変化しても、住み続けられる住まいを目指して住宅改修に着目して研究されているそうです。身体機能は一人一人違います。医療や介護等の専門家と連携して知恵を出し合う事で、本人が認識していない潜在的なニーズを捉える事へ近づくそうです。

課題の掘り起こし、改修の事例、専門家を組み込んだ地域包括ケアシステムの先進的事例として、千葉県柏市の「豊四季台団地」の事例等が紹介されました。東京オリンピックの頃に造成された巨大団地ですが、老朽化による建て替えと同

時に「長寿社会のまちづくり」に取り組んでいるそうです。在宅医療センターやサービス付き高齢者住宅等が新設され、住人同士が関わりあって、住人に合わせてまちや住まいが変化していく様子を伺い知ることができました。

後半では、皆さんの仕事での経験談や身近で感じた住環境への感覚の変化について、意見が交わされました。

一例として、

- 以前はひよいと上がった階段が、年齢と共に難儀に感じるようになった。
- 奥さんに先立たれた男性の住環境のごみ屋敷化（仕事以外の生活全てを奥さんに頼り切っていたのでしょうか。その方にとってごみは断熱材だったそうですが。）
- 身近な人の介護経験談では、介護する側の加齢による負担の増加
- 介護サービスを受けすぎる事への慣れ

加齢による感覚の変化や男女の違い、介護する側の問題、サービス利用の是非等、実感を伴った多様な意見があげられました。協力してよりよい環境、社会へと導いていくのは理想的ですが、細やかな対応が必要でボランティアでは難しい仕事です。一方では報酬というシビアな問題も抱えており、仕事として成り立たせるのは難しく、時間がかかるという意見もありました。

誰もが心地よい生活を送りたいと願っているはずですが、加齢による身体機能の低下や、病気や事故で、不自由な生活を余儀なくされるのは、皆に起きうる事です。高齢化の進む秋田で、自尊心を保ちながら心地よく暮らしていくために、専門家として必要な知識はまだまだあるようです。

このような活動を継続しておられ、一人でも「福まち部会」を始められた松橋委員長を尊敬します。先輩女性委員の地道な努力とパワフルさを垣間見た学習会となりました。



第29回全国女性建築士連絡協議会（東京）に参加して

『未来へつなぐ居住環境づくり ～和の伝統技術の継承と創造～』

大館北秋田建築士会

松橋 雅子

今年 29 回目を迎えた令和元年度「全国女性建築士連絡協議会」は、東京・建築会館にて開催されました。今年度の「全建女」と「全国大会はこだて大会」の活動報告・被災地報告・セッションの発表等について東北ブロック会が役割を担当することになり、私達は全建女の活動報告を担当しました。過去に平成 26 年の全建女にて「親子体験学習」についての報告をしていることから、今年度は地域会において、会員が夫々の地域で積極的に活動、湯沢雄勝建築士会が平成 19 年より取り組んでこられた歴史的建造物改修等基本構想策定業務から、「探し・残す」～白井建築物の調査・保存・活用を考えて～と題して、清水川さんと二人で発表。今回活動報告を引き受けた背景として、「2021 年全国大会あきた大会の PR をシテもよい」とお許しを得たので、「これはチャンス！」との思いで制限時間オーバーしながらも、一足先

にウェルカムアピールして来ました。

基調講演「和の伝統技術の継承と創造～新たなプロの育て方～」トークセッションでは、女性左官職人の金澤萌さんをゲストに迎え、職人としての金澤さんのプライドと、母として妻としてユニークな家庭のあり方をお聞きすることができ、とても刺激になりました。中でも基調講演の講師であり、金澤さんの元上司の(有)原田左官工業所原田社長様が、若い職人を育成するに当たり最も力をいれているのが「コミュニケーション力」を強化することと話していたことがとても印象的でした。



第3回学習会「カルトナージュ製作」に参加して

仙北建築士会

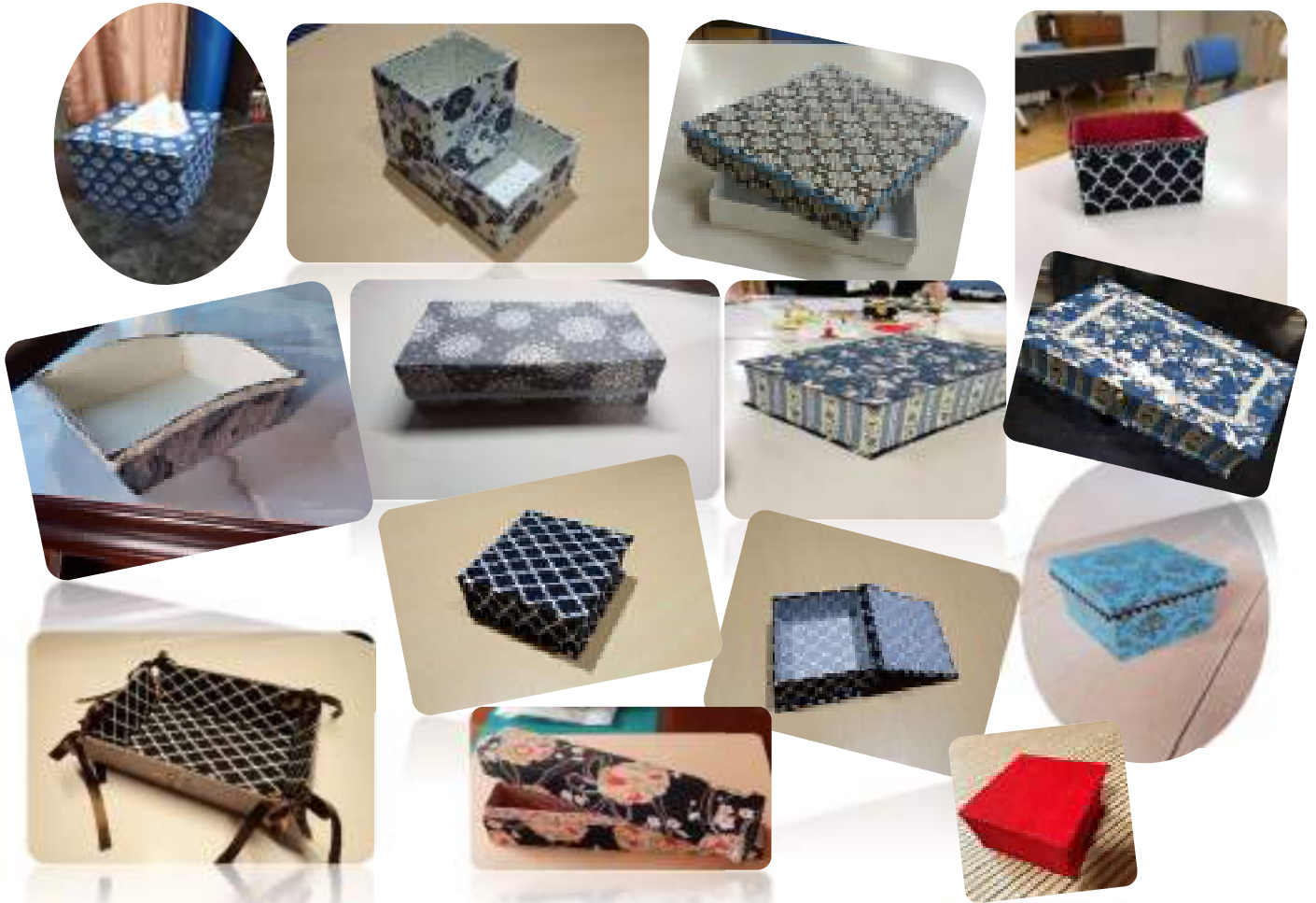
小野地 紀子

初めてのカルトナージュ製作。捨てられずにいた空き箱をデコレーションして素敵な箱になりました。イメージを持って行ったはずなのに布地を決めるまで時間がかかり、選ぶ楽しさと、時間内で仕上がるかどうかドキドキもあり、不器用さに嘆きながらも楽しい時間でした。多少の作業を残した状態で終了になってしまいましたが、イメージ通りの作品になりました。家に帰ってから少し手を加え、今はちょっと大きめのおやつ入れと

して使用しています。当日は、丁寧にご指導いただきましてありがとうございました。昨年に引き続き、作品づくりの学習会、楽しみの一つです。今後も機会があれば参加したいと思っています。来年は全国大会が秋田で開催される年。秋田らしい大会になるように、一会員としてお役にたてればと思っています。



✿~~~~✿~~~~カルトナージュギャラリー~~~~✿~~~~✿



🍷~~~~🍷~~~~ミニ活動報告~~~~🍷~~~~🍷



2月15日～16日横手お城山にてかまくらまつりのおもてなし隊を女性委員メンバーが頑張ってくれました！

R1年度 活動内容一覧

- | | |
|--|---|
| <p>4月 第1回東北ブロック会女性委員会(委員長会議)
(仙台市)</p> <p>6月 第1回幹事会・平成30年度女性委員会会議
第1回学習会
「福祉まちづくり部会キックオフミーティング報告」
意見交換会</p> <p>7月 全国女性建築士連絡協議会 (東京都)</p> | <p>9月 建築士会全国大会 北海道大会</p> <p>10月 第2回学習会
親子体験学習「気持ちのいい家をつくろう」
(横手市)</p> <p>10月 第2回東北ブロック会女性委員会見学会
(委員長会議) (横手市)</p> <p>2月 第2回幹事会
第3回学習会「カルトナージュ製作」・意見交換</p> |
|--|---|

編集後記

R1年度もイベントが盛りだくさんで活発な活動ができたと思います。これも皆様のご協力のお陰です。次年度は建築士会全国大会あきた大会に向けての活動がメインとなると思います。会員一丸となり頑張らしましょう！次年度もたくさんの楽しいこと、勉強になることに会える場として、参加をお待ちしています。 by横手 鈴木ルリ子

会員数68名 (R2年3月現在)